

第 90 回歴史探訪の会「西ノ京の大寺と埴輪の歴史を学ぶ」

実施日： 2023 年 11 月 15 日(水曜)

場 所： 奈良・西ノ京

案内者： 内海春樹

今回は奈良平城京跡の西側にある寺院や埴輪発祥の地とされる旧菅原村を 28 名の参加者で訪れました。

コース： 近鉄・尼ヶ辻駅～旧菅原村・埴輪公園～菅原天満宮～喜光寺(山田住職の法話)～垂仁天皇陵～唐招提寺～近鉄・西ノ京駅

集合場所の近鉄尼ヶ辻駅横には江戸時代に地域の武士が建てた「菅原天満宮・喜光寺」の立派な石碑が目を引いた。

1. 菅原村埴輪公園(菅原東遺跡埴輪窯跡群)

平成 2 年に発掘調査の結果古墳時代後期の窯が 6 基見つかりました。この窯跡の周囲からは円筒埴輪をはじめ馬・鳥・家・武器などの形象埴輪が掘り出されました。今は一基のみ復元され見学出来るようになっています。

この地は古代より野見宿禰を先祖とする土師氏の子孫が住み、皇室の陵墓や埴輪を造る仕事をしていました。後に“菅原性”を名乗る事が許され、一族から菅原道真をはじめ学問に秀でた人々が生まれています。



江戸時代の石碑



はにわ公園



菅原道真公誕生の時に使われた産湯の水と伝承された池

2. 菅原天満宮

当神社は、菅原家一系三神を祀る日本最古の天満宮です。

全国に天満宮は約 1 万社ありますが、道真公生誕の地である当菅原天満宮と、終焉の地である太宰府天満宮、及び京都の北野天満宮はもっとも重要な神社とされています。

菅原道真公は野見宿禰命第 17 世の子孫です。子供の頃から聡明にして文学に長じ、宇多天皇の寵愛を得て参議に任ぜられ、その後遣唐使を拝命し醍醐天皇の西暦 899 年に右大臣に重用されました。その後、藤原一族の反感をかき、九州太宰府に左遷され失意の中で亡くなりました。道真公の没後は“天満大自在天神”と崇め奉るにいたりました。

こうしたゆかりを以って世の人々は、道真公の神徳にあやかり、試験合格・学徳向上の祈願は言うまでもなく、文筆にいそしむ人々の信仰は殊に厚いです。当菅原天満宮境内には立派な筆塚が建立されています。



菅原天満宮の本殿

3. 喜光寺

養老 5 年(721)行基さんは、この地の有力者から土地の寄進を受けお寺を建てました。これが(菅原寺)後の喜光寺で布教活動・社会事業の重要な拠点寺院となりました。行基菩薩は聖武天皇に認められ、人生最後の偉業として取りかかれたのが東大寺大仏造立です。

行基菩薩は大仏造立に尽力するなか、天平 21 年(749)病の床につかれ 2 月 2 日に喜光寺東南院にて入寂されました。(82 歳のご生涯)。明治の初め全国的な「廃仏毀釈」と呼ばれる排斥運動により喜光寺の文化財は売られてしまうという憂き目に遭いました。その後、修理復興もかなわず、昭和の時代まで荒れ果てて廃寺寸前のありさまになってしまったのです。

平成 2 年(1990)、山田法胤住職が就任し、行基菩薩の遺徳顕彰と伽藍復興を目標にかかげて「平成の復興」がはじまりました。平成 4 年からは「いろは写経」の勧進を発願して、平成 22 年(2010)に南大門を復興することができました。また行基菩薩入寂の寺として平成 26 年(2014)に行基堂を建立しました。

当日は住職が毎朝本堂でされる勤行を私達が入山する時間に合わせてされました。ご本尊の阿弥陀如来坐像の前でお経を唱え、「シャープの発展、社友会会員の健康」などを拝み一人一人お焼香もさせて戴きました。その後仏舎利殿で「歴史から学ぶ日本のこころ」と題して法話を戴きました。



喜光寺全景



試みの大仏殿と言われる本堂へ向かう



出迎えて戴いた山田法胤住職(左)と副住職



阿弥陀如来坐像の前で朝の勤行



仏舎利殿での山田住職による法話



喜光寺本堂前で

4. 垂仁天皇陵

全長 227M の前方後円墳で周囲に満々と水をたたえた濠をめぐらせた美しい古墳です。



美しい垂仁天皇陵

5. 唐招提寺

唐の高僧“鑑真和上”が聖武天皇に招かれ、12年もの間、6回にも及ぶ苦難の末に来日を果たし745年(天平勝宝6年)平城京に到着した。鑑真は東大寺大仏殿前に戒壇を設け、5年間で上皇から僧尼まで400人に菩薩戒(戒律)を授けた。759年新田部親王の旧宅跡を朝廷から譲り受け、戒律の道場として唐招提寺を創建。763年5月、同寺で76歳の生涯を閉じた。

境内には金堂、講堂、校倉(2棟)、鼓楼(いずれも国宝)をはじめとする伽藍が立ち並んでいる。これらは、朝廷などの寄進により徐々に整えられていったもので、現在でも創建時の姿を伺い知ることができる。また、天平彫刻の傑作も数多く安置されている。なかでも御影堂の鑑真和上像(国宝)は、わが国に現存する最古の肖像彫刻で、晩年をむかえた鑑真和上の深い精神性を感じさせる。開山堂には、複製された和上像が安置されている。

- ・本堂： ご本尊は盧舎那仏 脇に千手観音・薬師如来坐像・四天王・
- ・コケ庭： 開山御廟 鑑真和上のお墓
- ・和上坐像： 80センチの等身大
- ・鼓楼： 和上が唐から持ってきた銅製の“仏舍利”が安置されている。



唐招提寺本堂



唐招提寺 戒壇



唐招提寺本堂前で